

# One ターゲットリターン・ファンド (4%コース)

## 追加型投信／内外／資産複合

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券（リート）、コモディティ、上場投資信託証券（ETF）などを投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年3月26日～2026年3月25日

第6期	決算日：2026年3月25日	
第6期末 (2026年3月25日)	基準価額	9,934円
	純資産総額	723百万円
第6期	騰落率	0.7%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

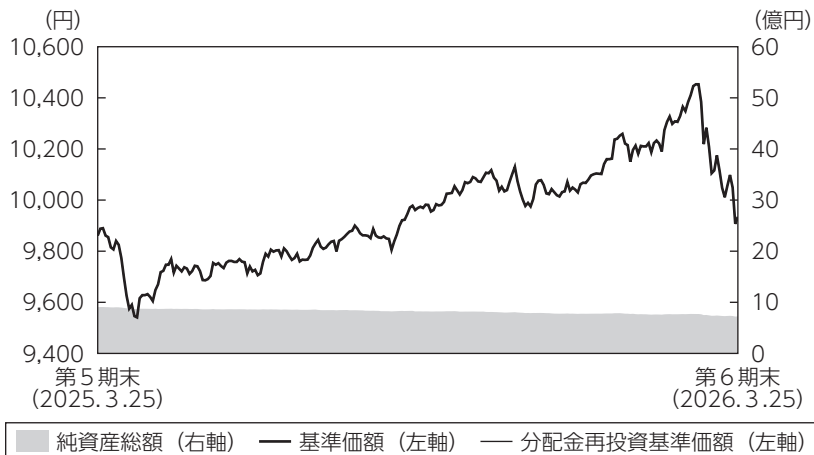
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第6期首： 9,861円  
 第6期末： 9,934円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率： 0.7%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

わが国を含む世界各国の様々な資産へ分散投資を行う5つの投資信託証券を通じて、中長期的な目標リターンとして年率4%を目指して運用を行いました。期初は、トランプ米政権の相互関税導入の混乱によって大きく調整する場面もあったものの、各国との交渉の進展により不透明感が払しょくされ株式市場が上昇基調となったため基準価額も上昇しました。期末にかけてはイラン戦争の勃発による不透明感から株式・債券市場ともに下落したため、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセット ファンド（4%コース向け）（適格機関投資家限定）	△0.7%
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド （4%コース）（FoFs用）（適格機関投資家専用）	2.1%
フィデリティ・ターゲット・リターン・ファンド（適格機関投資家専用）	17.3%
SMTAM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ ファンド（4%目標コース）（適格機関投資家専用）	△3.2%

（注）各組入ファンドの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2025年3月26日 ～2026年3月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	72円	0.726%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,950円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(35)	(0.352)	
(販売会社)	(35)	(0.352)	
(受託会社)	( 2)	(0.022)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.003 (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	73	0.729	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

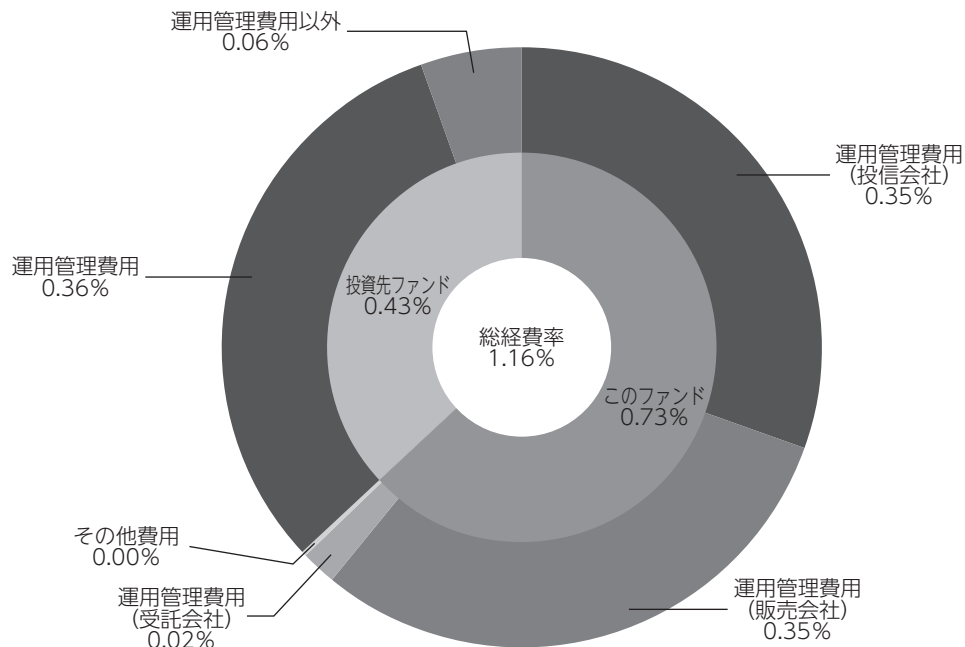
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.16%です。



総経費率 (①+②+③)	1.16%
①このファンドの費用の比率	0.73%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.36%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

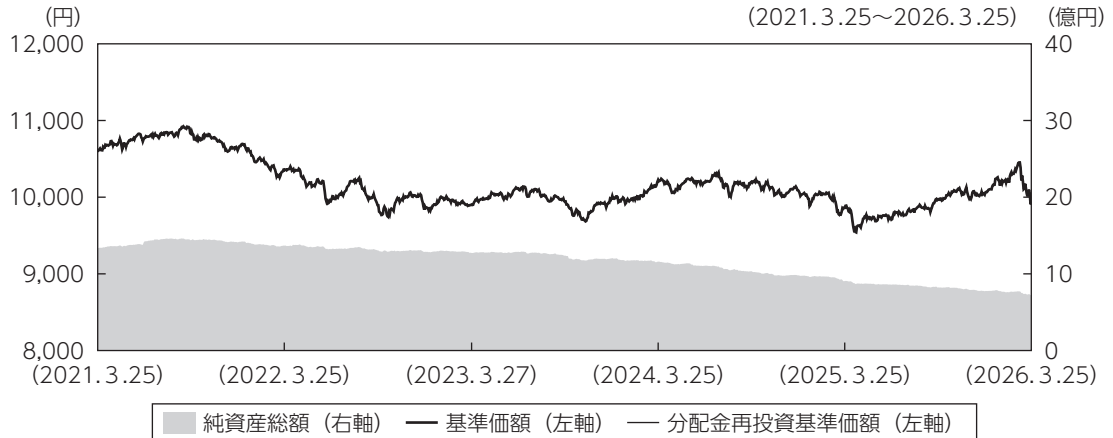
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年3月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年3月25日 期首	2022年3月25日 決算日	2023年3月27日 決算日	2024年3月25日 決算日	2025年3月25日 決算日	2026年3月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,593	10,351	9,904	10,227	9,861	9,934
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△2.3	△4.3	3.3	△3.6	0.7
純資産総額 (百万円)	1,333	1,367	1,272	1,160	905	723

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 投資環境

株式市場では、当期は、トランプ米政権による相互関税導入を受け、大幅安で始まりしました。各国との交渉進展に伴い反発し、F R B（米連邦準備理事会）の金融緩和観測やA I（人工知能）への期待を背景に上昇基調となりました。2025年末には高市政権発足による日本株高も追い風となりました。年明け以降は業績改善を背景に高値圏を維持しましたが、2026年2月末のイラン戦争勃発を受け、先行き不透明感から下落しました。

債券市場では、期初は、トランプ関税導入によるインフレ懸念と金融緩和期待が交錯し、値動きの激しい展開となりました。関税を巡る不透明感が徐々に払しょくされると、米国の金融緩和期待を背景に上昇しました。2025年9月にF R Bは利下げを実施しましたが、追加利下げに慎重な姿勢を示し、年末にかけてもみ合いとなりました。期末にかけては、イラン戦争による原油価格高騰を受け下落しました。日本債券は、高市政権の積極財政や日銀の利上げ観測などから下落しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

投資対象の投資信託証券に対して均等投資を行い、全体の投資割合は高位を維持して運用を行いました。なお、運用効率の観点から東京海上キャリアターゲット（4%コース向け）（FoFs用）＜適格機関投資家限定＞を期中で売却し、4つの投資信託証券に原則均等配分で投資しました。

### ●SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（4%コース向け）（適格機関投資家限定）

先進国の国債を主要投資対象とし、市場環境等に応じて先進国の株式への投資（含むE T F）、債券先物取引、株価指数先物取引、先進国通貨の為替取引を使って中長期的な目標リターンの獲得を目指して運用を行いました。トランプ関税の不透明感が払しょくされ株式市場が上昇したことや円安が進んだことからリスク資産がプラス寄与し基準価額が上昇したものの、イラン戦争によるリスクオフにより基準価額は下落に転じました。

### ●SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（4%コース）（FoFs用）（適格機関投資家専用）

国内外の債券はマザーファンド、国内外の株式等についてはE T Fを通じた資産配分モデルによって資産配分を定めて分散投資を行いました。外貨建資産について対円での為替ヘッジを原則として行いました。当期については、日本株式および先進国株式の上昇により基準価額も上昇したものの、イラン戦争による世界経済への不透明感から上昇幅を縮小しました。

### ●東京海上キャリアターゲット（4%コース向け）（FoFs用）＜適格機関投資家限定＞

主に国内外の先物取引（含む商品）などを通じて、国内外の債券・為替および商品等へ投資する複数の運用戦略に分散投資を行うことで中長期的に安定的なインカムを中心とした収益の確保を目指す運用を行いました。債券戦略がプラスに寄与したものの、商品のカレンダー・スプレッド戦略がマイナスに影響し、基準価額は下落しました。なお、2026年1月に繰り上げ償還となりました。

### ●フィデリティ・ターゲット・リターン・ファンド（適格機関投資家専用）

主として世界の債券（含むハイイールド債券や投資適格債券、新興国債券）や株式およびETFに投資を行い、長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した基本的な資産配分に、相場環境に応じた戦略的な判断を加えて、中長期的な収益目標を目指した運用を行いました。当期は、通貨戦略がマイナスに影響したものの、先進国株式や新興国の株式および債券などの戦略がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

### ●SMTAM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド（4%目標コース）（適格機関投資家専用）

定量的手法に基づいた複数の運用戦略を組み合わせ、先進国の債券先物取引及び世界主要通貨の為替予約取引を行うことで長期的な目標リターンの獲得を目指して運用を行いました。為替のディレクショナル戦略（市場の方向性を利用してポジションをとる戦略）がマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万円当たり）

項目	当期
	2025年3月26日 ～2026年3月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	145円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、投資対象とする投資信託証券に対して、原則均等配分で投資を行い、全体で高位の組入を維持し中長期的な目標リターンを年率4%をめざして運用を行います。

### ●SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（4%コース向け）（適格機関投資家限定）

引き続き、先進国の国債を主要投資対象とし、市場環境等に応じて先進国の株式への投資（含むETF）、債券先物取引、株価指数先物取引、先進国通貨の為替取引を使って中長期的な目標リターンの獲得を目指して運用を行う方針です。

### ●SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（4%コース）（FoFs用）（適格機関投資家専用）

引き続き、国内外の債券はマザーファンド、国内外の株式等についてはETFを通じた資産配分モデルによって資産配分を定めて分散投資を行う方針です。

### ●フィデリティ・ターゲット・リターン・ファンド（適格機関投資家専用）

主として世界の債券（含むハイイールド債券や投資適格債券、新興国債券）や株式およびETFに投資を行い、長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した基本的な資産配分に、相場環境に応じた戦略的な判断を加えて、中長期的な収益目標を目指した運用を行う方針です。

### ●SMTAM・FoFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド（4%目標コース）（適格機関投資家専用）

定量的手法に基づいた複数の運用戦略を組み合わせ、先進国の債券先物取引及び世界主要通貨の為替予約取引を行うことで長期的な目標リターンの獲得を目指して運用を行う方針です。

## お知らせ

### 約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

（2025年4月1日）

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

■「別に定める投資信託証券」のうち「追加型証券投資信託 東京海上キャリターゲット（4%コース向け）（FoFs用）＜適格機関投資家限定＞」を削除しました。

（2026年1月27日）

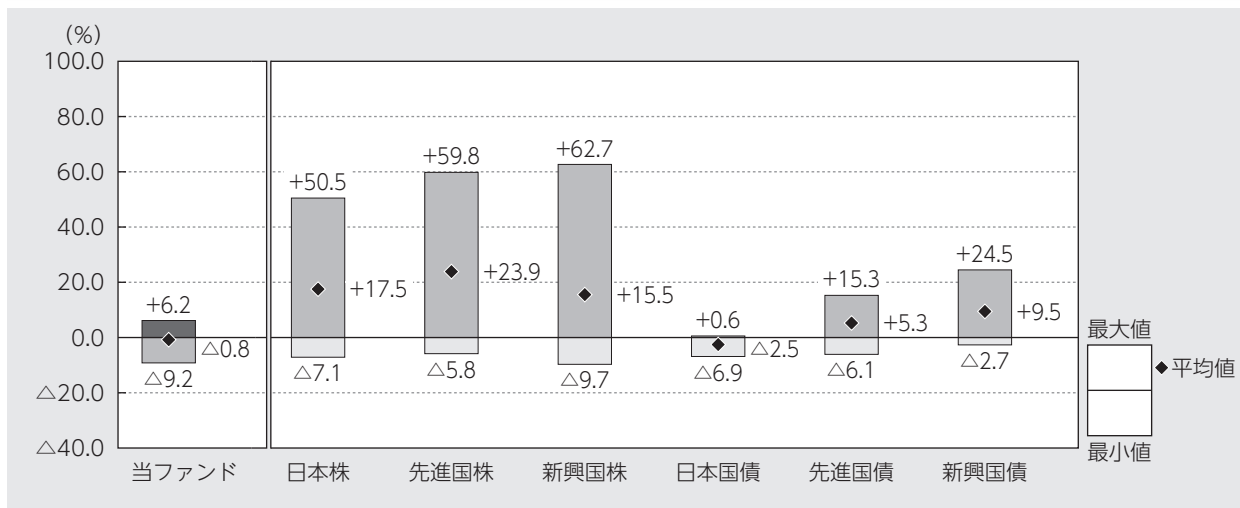
### その他のお知らせ

■投資対象とする投資信託証券の信託報酬は2026年1月27日に年率0.363%～0.374%（税抜0.33%～0.34%）（実質的な信託報酬率は年率1.09725%（税抜0.9975%）概算）に変更となりました。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2020年3月27日から2030年3月25日までです。	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	One ターゲットリターン・ファンド（4%コース）	主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券（リート）、コモディティおよびそれらを投資対象とする上場投資信託証券（ETF）を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資します。
	SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（4%コース向け）（適格機関投資家限定）	マルチアセット・キャリーマザーファンド（安定成長型）受益証券。
	SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（4%コース）（FOFs用）（適格機関投資家専用）	損保ジャパン日本債券マザーファンド受益証券、損保ジャパン外国債券マザーファンド受益証券、日本および先進国の債券、株式等、または日本および先進国の債券、株式等に投資する上場投資信託証券。
	フィデリティ・ターゲット・リターン・ファンド（適格機関投資家専用）	フィデリティ・ターゲット・リターン・マザーファンド受益証券。
	SMTAM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド（4%目標コース）（適格機関投資家専用）	GBCAマザーファンド（ミドルリスク型）受益証券。
運用方法	<p>中長期的な目標リターンをめざして、投資信託証券を通じてわが国を含む世界各国の様々な資産へ分散投資を行います。</p> <p>運用にあたっては、主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券（リート）、コモディティおよびそれらを投資対象とする上場投資信託証券（ETF）を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資します。なお、投資信託証券には、国内外の有価証券先物取引、オプション取引、スワップ取引等のデリバティブ取引および外国為替予約取引等を活用するものを含みます。</p> <p>投資信託証券への投資配分については、均等配分を原則とします。</p> <p>投資信託証券への投資割合は、原則として高位とすることを基本とします。</p> <p>投資対象とする投資信託証券は適宜見直しを行います。この際、投資対象として定められていた投資信託証券が投資対象から除外されたり、新たな投資信託証券が投資対象に定められることがあります。</p>	
分配方針	<p>決算日（毎年3月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年3月～2026年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2026年3月25日現在）

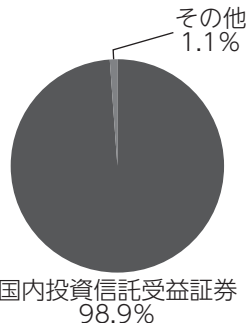
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：4ファンド)

	当期末
	2026年3月25日
SMD AM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（4%コース向け）（適格機関投資家限定）	24.7%
SOMP Oターゲット・リターン戦略ファンド（4%コース）（FoFs用）（適格機関投資家専用）	24.7
フィデリティ・ターゲット・リターン・ファンド（適格機関投資家専用）	24.4
SMT AM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド（4%目標コース）（適格機関投資家専用）	25.0
その他	1.1

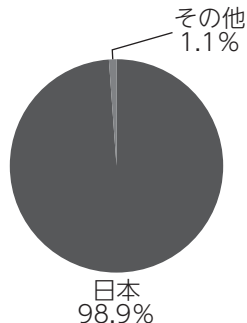
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

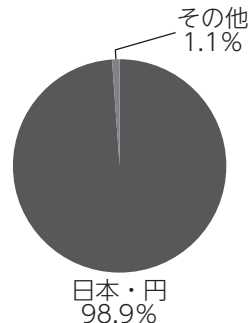
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

### 純資産等

項目	当期末
	2026年3月25日
純資産総額	723,581,429円
受益権総口数	728,405,687口
1万口当たり基準価額	9,934円

(注) 当期中における追加設定元本額は3,188,669円、同解約元本額は192,779,140円です。

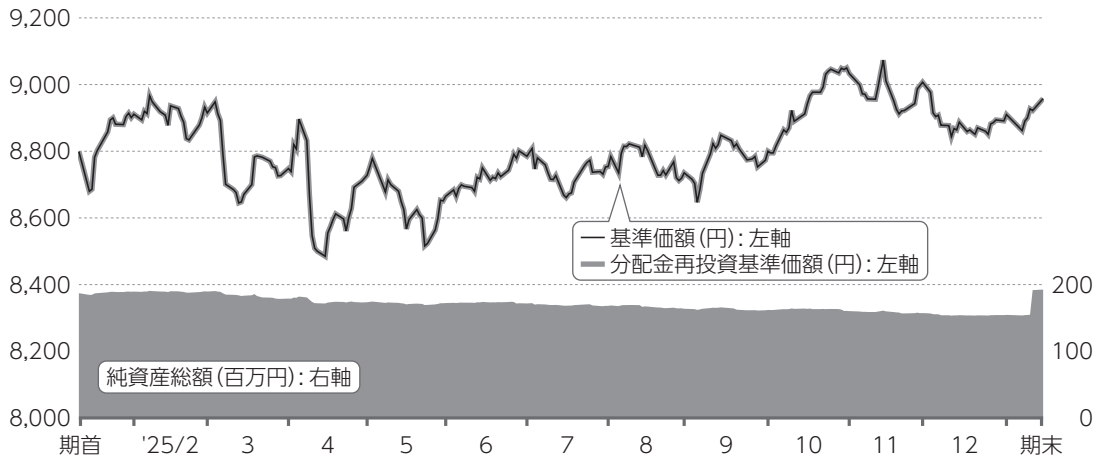
## 組入ファンドの概要

### [SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（4%コース向け）（適格機関投資家限定）]

12～15ページは、「SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（4%コース向け）（適格機関投資家限定）」の第6期（2025年1月11日～2026年1月13日）の計算期間のデータです。委託会社である三井住友DSアセットマネジメント株式会社から提供された交付運用報告書を元に掲載しております。

#### 基準価額等の推移について（2025年1月11日から2026年1月13日まで）

#### 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	8,799円
期末	8,958円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+1.8% (分配金再投資ベース)

#### 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 1万口当たりの費用明細(2025年1月11日から2026年1月13日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	32円	0.366%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は8,800円です。
( 投 信 会 社 )	(30)	(0.338)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
( 販 売 会 社 )	(0)	(0.005)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.076	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(2)	(0.020)	
(投資信託証券)	(5)	(0.056)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 公 社 債 )	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.029	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.023)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
( そ の 他 )	(0)	(0.001)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	41	0.470	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

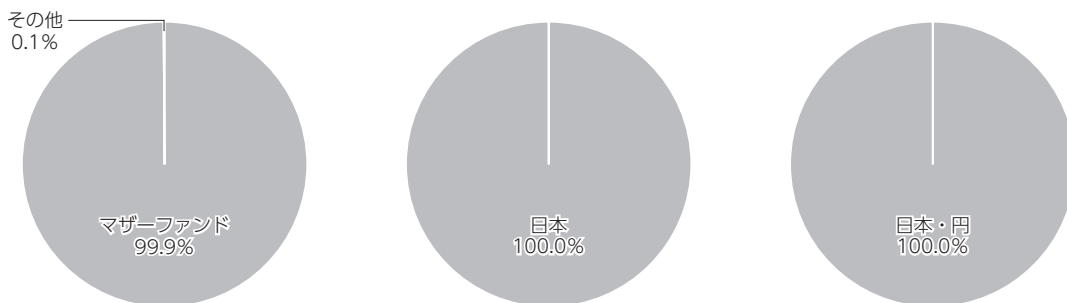
## 当ファンドの組入資産の内容 (2026年1月13日)

### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
マルチアセット・キャリーマザーファンド(安定成長型)	99.9%
コールローン等、その他	0.1%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

マルチアセット・キャリーマザーファンド(安定成長型) (2025年1月11日から2026年1月13日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位: 円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(先物・オプション) (投資信託証券)	7	(2) (5)
有価証券取引税	(投資信託証券)	0	(0)
その他費用	(保管費用) (その他)	2	(2) (0)
合計		9	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

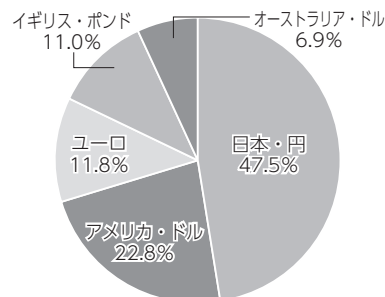
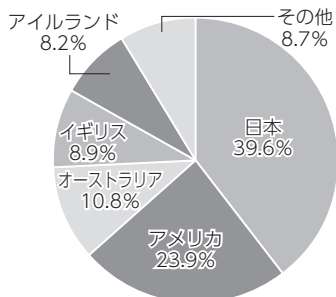
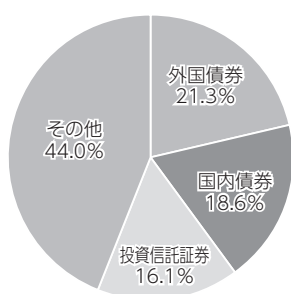
組入上位銘柄

(基準日: 2026年1月13日)

	銘柄名	組入比率
1	171 20年国債	14.9%
2	US TREASURY N/B 3.75 12/31/30	8.6%
3	AUSTRALIAN GOVERNMENT 3.75 04/21/37	6.0%
4	UK GILT 4.375 01/31/40	5.0%
5	SPDR S&P 500 ETF TRUST	4.8%
6	ISHARES CORE FTSE 100	4.6%
7	373 10年国債	3.7%
8	NEXT FUNDS TOP I X 連動型上場投信	3.6%
9	ISHARES CORE DAX DE EUR ACC	3.2%
10	FRANCE OAT. 2 05/25/48	1.7%
	全銘柄数	10銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※外国債券先物を70.1%買建てしています。

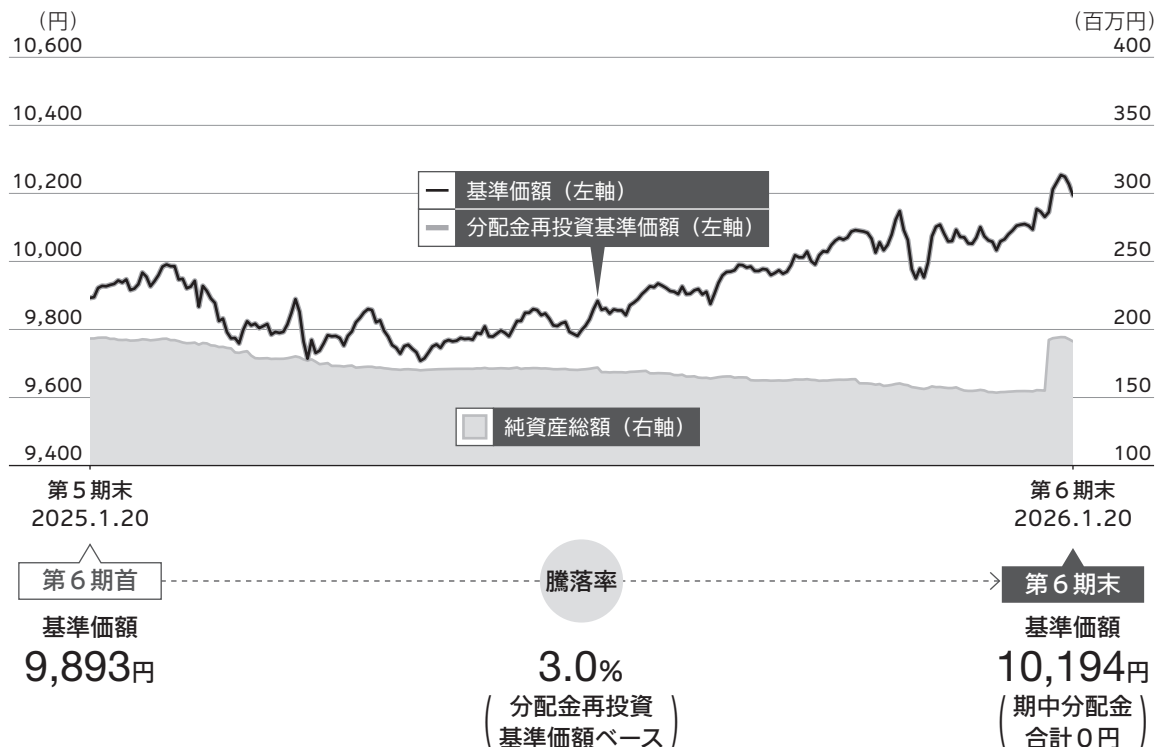
※通貨別配分は為替ヘッジ前の比率です。外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを行っています。

※基準日は2026年1月13日現在です。

## [SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（4%コース）（FoFs用）（適格機関投資家専用）]

16～29ページは、「SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（4%コース）（FoFs用）（適格機関投資家専用）」の第6期（2025年1月21日～2026年1月20日）の計算期間のデータです。委託会社であるSOMPOアセットマネジメント株式会社から提供された交付運用報告書を元に掲載しております。

### ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2025年1月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本および先進国の債券、株式に分散投資します。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は **0.553%** です。

項目	第6期 2025.1.21～2026.1.20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	37円	0.374%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,926円です。
（投信会社）	(33)	(0.330)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	11	0.107	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(11)	(0.107)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	7	0.071	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(6)	(0.062)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>55</b>	<b>0.553</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

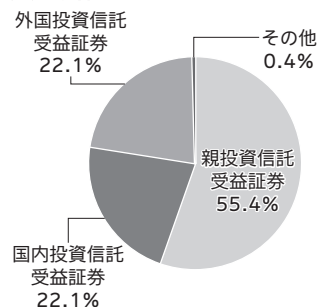
注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

## 組入ファンド

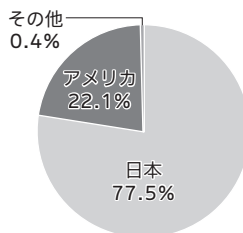
	第6期末 2026.1.20
損保ジャパン外国債券マザーファンド	33.6%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	22.1%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	21.8%
iシェアーズ・コアS&P500 ETF	13.0%
バンガード・FTSE・ヨーロッパETF	9.1%

注. 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

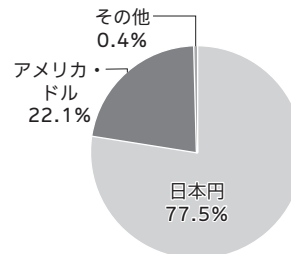
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



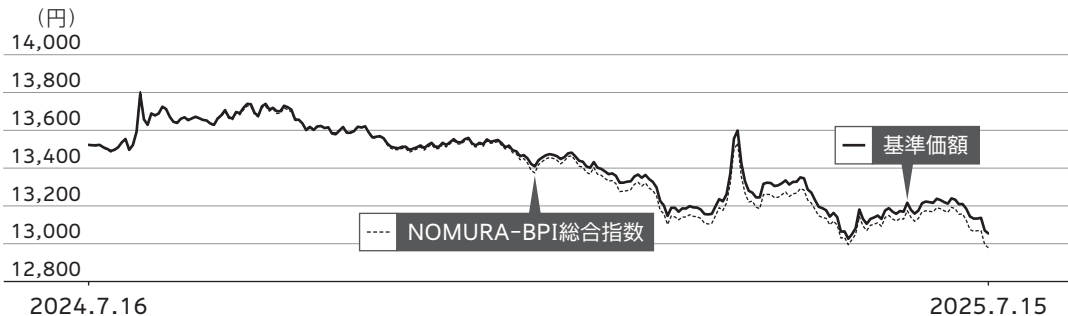
注. 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。



## 損保ジャパン日本債券マザーファンド

### 基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2024年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

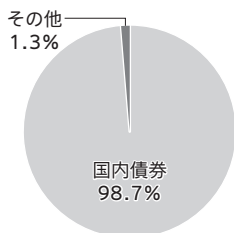
### 1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。

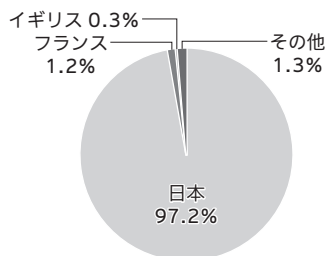
## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第177回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	8.7%
2 第473回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	6.2%
3 第365回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	4.6%
4 第371回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	4.4%
5 第376回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.8%
6 第471回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	3.6%
7 第160回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	3.3%
8 第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.6%
9 第183回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.3%
10 第176回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	1.9%
組入銘柄数		106銘柄		

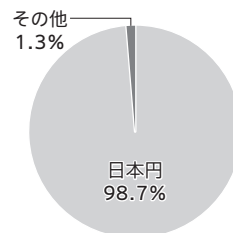
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

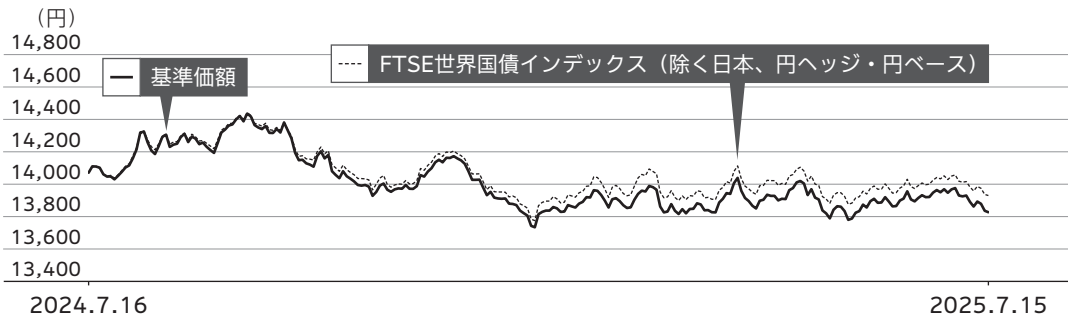
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2025年7月15日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



## 損保ジャパン外国債券マザーファンド

## 基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース））の推移は、2024年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

## 1万口当たりの費用明細

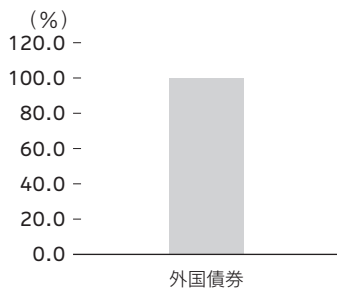
項目	2024.7.17~2025.7.15	
	金額	比率
その他費用	9円	0.066%
（保管費用）	(9)	(0.065)
（その他）	(0)	(0.000)
<b>合計</b>	<b>9</b>	<b>0.066</b>

期中の平均基準価額は14,019円です。

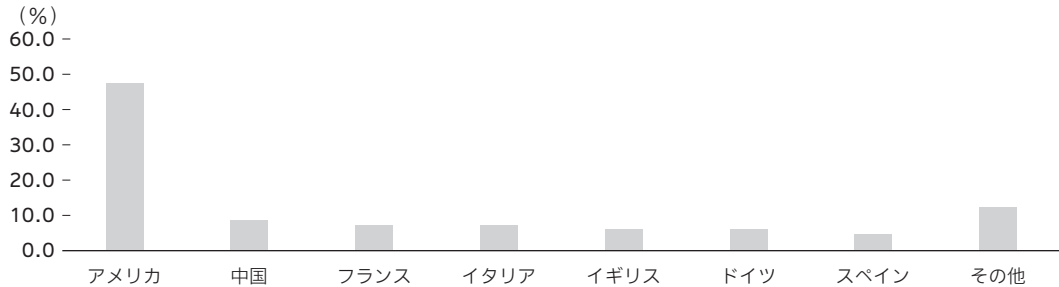
### 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 Treasury 4.5 290531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	10.8%
2 Treasury 2.25 270215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	7.7%
3 Treasury 4.625 310531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	6.9%
4 Treasury 4.625 350215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	4.3%
5 Treasury 2.25 270815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.4%
6 Treasury 4.625 550215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.8%
7 ITALY 2.8 281201	国債証券	ユーロ	イタリア	1.7%
8 CANADA 0.5 301201	国債証券	カナダ・ドル	カナダ	1.7%
9 CGB 2.67 331125	国債証券	オフショア人民元	中国	1.7%
10 UK GILT 4.5 340907	国債証券	イギリス・ポンド	イギリス	1.5%
組入銘柄数		140銘柄		

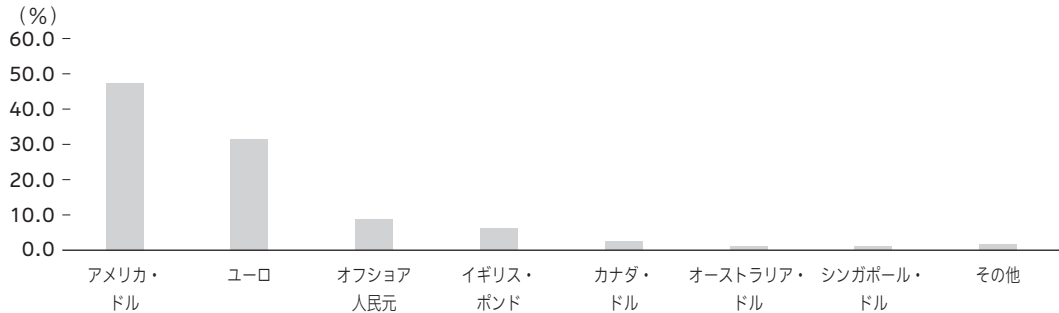
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

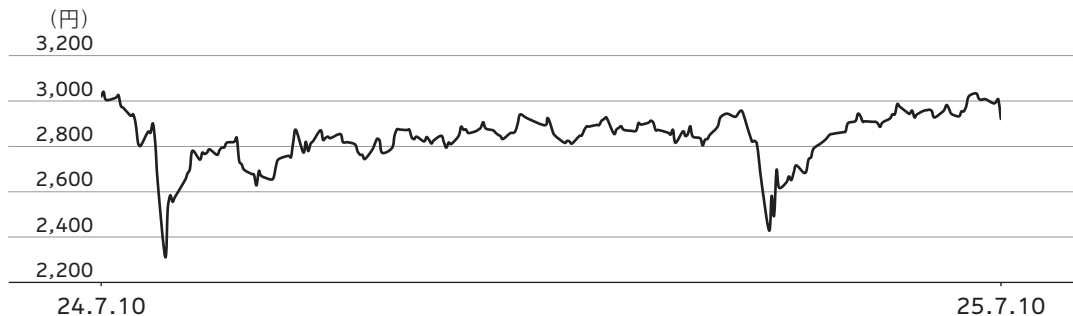
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2025年7月15日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



## NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信

### 基準価額の推移（1口あたり）



※ 期中の分配金は含みません。

### (ご参考) 費用明細

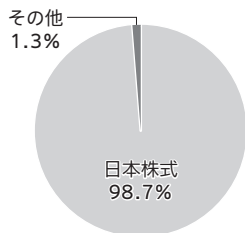
項目	2024.7.11～2025.7.10
	比率
運用管理費用	0.07%
その他費用	0.02%
トータルエクスペンスレシオ	0.09%

※トータルエクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	組入比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	日本円	日本	3.67%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	日本円	日本	3.55%
3 日立製作所	電気機器	日本円	日本	2.60%
4 ソニーグループ	電気機器	日本円	日本	2.51%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	2.36%
6 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	1.86%
7 三菱重工業	機械	日本円	日本	1.77%
8 東京エレクトロン	電気機器	日本円	日本	1.69%
9 三菱商事	卸売業	日本円	日本	1.68%
10 三井物産	卸売業	日本円	日本	1.52%
組入銘柄数		1,680銘柄		

## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 基準価額の推移、トータルエクспンスレシオは組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2025年7月10日）現在のものです。

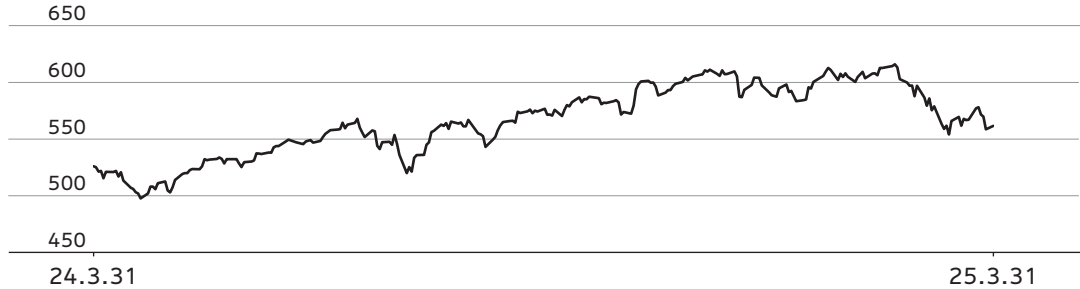
注3. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



## iシェアーズ・コアS&P500 ETF

### 基準価額の推移

(米ドル)



※期中の分配金は含みません。

### (ご参考) 費用明細

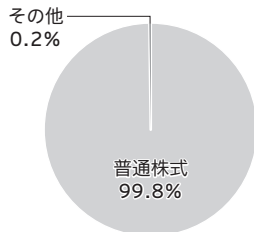
項目	2024.4.1~2025.3.31
	比率
トータルエクスペンスレシオ	0.03%

※トータルエクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種	組入比率
1 APPLE INC	情報技術	7.0%
2 MICROSOFT CORP	情報技術	5.9%
3 NVIDIA CORP	情報技術	5.6%
4 AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	3.8%
5 META PLATFORMS INC CLASS A	通信	2.6%
6 BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B	金融	2.0%
7 ALPHABET INC CLASS A	通信	1.9%
8 BROADCOM INC	情報技術	1.6%
9 ALPHABET INC CLASS C	通信	1.5%
10 TESLA INC	一般消費財・サービス	1.5%
組入銘柄数		503銘柄

## 資産別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2025年3月31日）現在のものです。国別配分および通貨別配分の比率については、入手できるデータがないため記載しておりません。

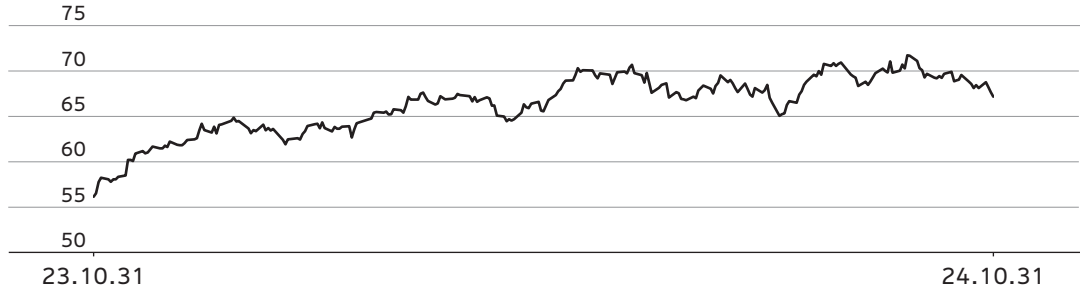
注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



## バンガード・FTSE・ヨーロッパETF

### 基準価額の推移

(米ドル)



※期中の分配金は含みません。

### (ご参考) 費用明細

項目	2023.11.1~2024.10.31
	比率
トータルエクスペンスレシオ	0.06%

※トータルエクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

組入上位10銘柄

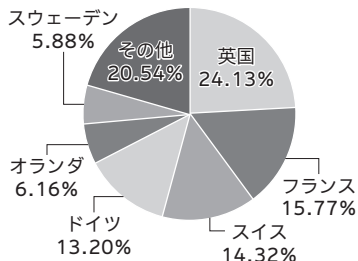
銘柄名	比率
1 Novo Nordisk A/S	2.81%
2 ASML Holding NV	2.15%
3 SAP SE	2.08%
4 Nestle SA	1.97%
5 Novartis AG	1.80%
6 Roche Holding AG	1.74%
7 AstraZeneca PLC	1.73%
8 Shell PLC	1.54%
9 HSBC Holdings PLC	1.38%
10 LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1.33%
組入銘柄数	1,289銘柄

※組入比率は、各組入銘柄の市場価格をバンガード・FTSE・ヨーロッパETFの純資産総額で除して計算しています。

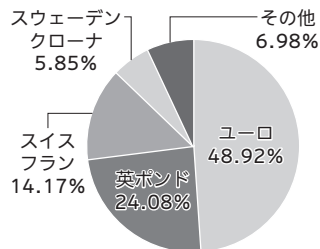
資産別配分



国別配分



通貨別配分

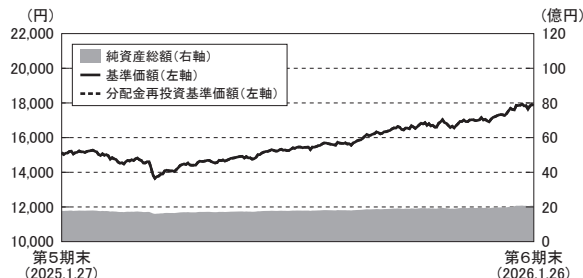


注. 上記の円グラフは、バンガード・FTSE・ヨーロッパETFの組入資産の情報を示しています。

## [フィデリティ・ターゲット・リターン・ファンド (適格機関投資家専用)]

30～31ページは、「フィデリティ・ターゲット・リターン・ファンド (適格機関投資家専用)」の第6期 (2025年1月28日～2026年1月26日) の計算期間のデータです。委託会社であるフィデリティ投信株式会社から提供された交付運用報告書を元に掲載しております。

### 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、2025年1月27日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

### 組入上位ファンド

ファンド名	組入比率
フィデリティ・ターゲット・リターン・マザーファンド	100.0%
組入ファンド数	1ファンド

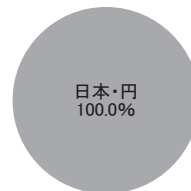
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

\* 詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

### 1万口当たりの費用明細

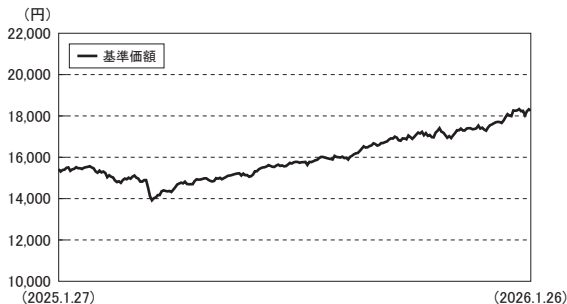
項目	第6期 2025年1月28日～2026年1月26日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	58円 (52) (2) (5)	0.373% (0.329) (0.011) (0.033)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は15,662円です。 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託受益証券)	15 (3) (12)	0.096 (0.021) (0.075)	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	20 (17) (3) (—)	0.125 (0.110) (0.015) (—)	(d) その他費用 = 期中のその他費用 期中の平均受益権口数 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 その他には、法定書類等 (有価証券届出書、目論見書、運用報告書等) の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。
合計	93	0.594	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

フィデリティ・ターゲット・リターン・マザーファンド  
基準価額の推移



(別途記載がない限り2026年1月26日現在)

組入上位10銘柄

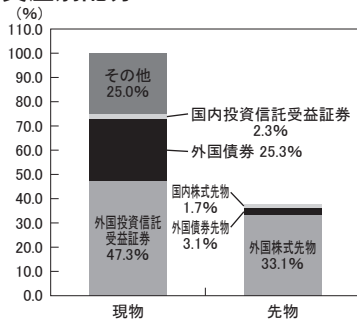
	銘柄名	通貨	比率
1	ISHARES JPM USD EM BND USD A	アメリカ・ドル	14.9%
2	MEXICAN BONOS 7.75% 11/23/2034	メキシコ・ペソ	6.7
3	NEW ZEALAND GOV 4.5% 05/15/35	ニュージーランド・ドル	6.0
4	PERU GOVT 5.4% 08/12/34	ペルー・ソル	5.8
5	SOUTH AFRICA 8.875% 02/28/35	南アフリカ・ランド	4.9
6	XTRACKERS II EUR HY UCITS ETF	ユーロ	4.9
7	FIRST TR NASDAQ CLEAN EDGE ETF	アメリカ・ドル	4.0
8	ISHARES PHYSICAL GOLD ETC	アメリカ・ドル	3.8
9	ISHARES CORE EM IMI ACC	アメリカ・ドル	3.1
10	ISHARES MSCI TAIWAN	アメリカ・ドル	3.1
組入銘柄数		21銘柄	

1万口当たりの費用明細

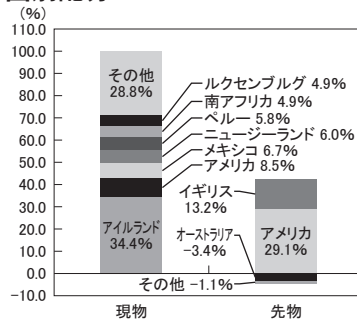
(2025年1月28日～2026年1月26日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託受益証券)	15円 (3) (12)
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用)	17 (17)
合計	33

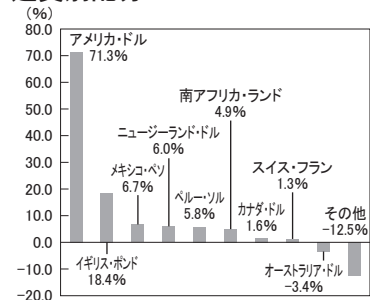
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

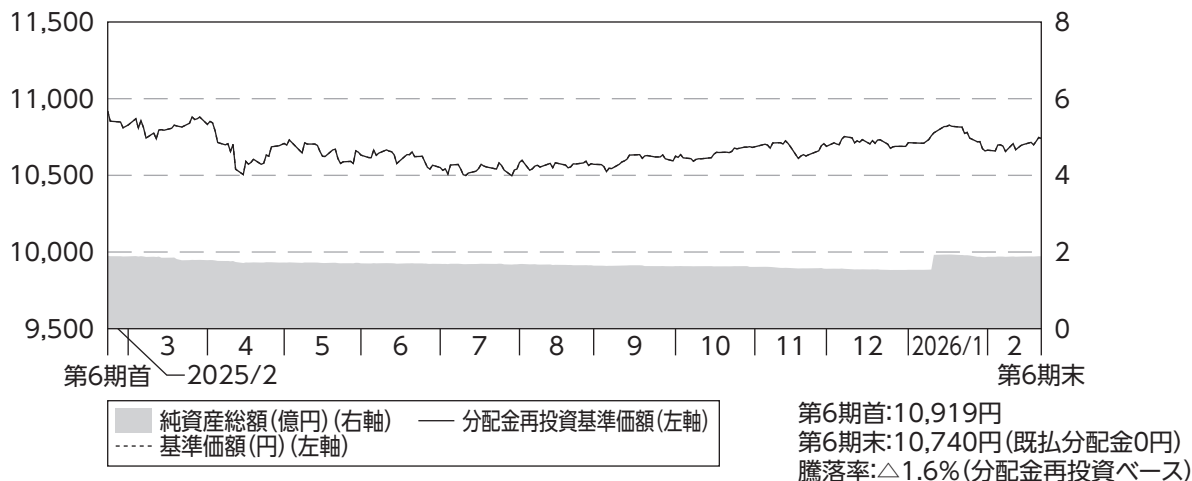
(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

\* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## [SMTAM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド（4%目標コース）（適格機関投資家専用）]

32～36ページは、「SMTAM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド（4%目標コース）（適格機関投資家専用）」の第6期（2025年2月21日～2026年2月20日）の計算期間のデータです。委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社から提供された交付運用報告書を元に掲載しております。

### 基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2025年2月20日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2025年2月21日~2026年2月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	40円	0.374%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,673円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(35)	(0.330)	
(販売会社)	(1)	(0.011)	
(受託会社)	(4)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	6	0.061	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(6)	(0.061)	
(c) 有価証券取引税	-	-	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.005	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(-)	(-)	
(監査費用)	(1)	(0.005)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	47	0.440	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 当ファンドの組入資産の内容

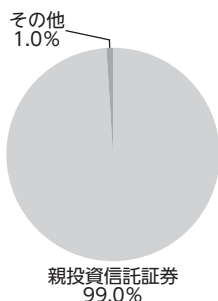
### ○組入ファンド

	当期末
	2026年2月20日
GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)	99.0%
その他	1.0%
組入ファンド数	1

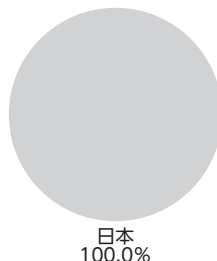
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

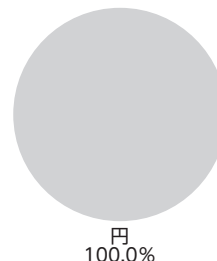
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分



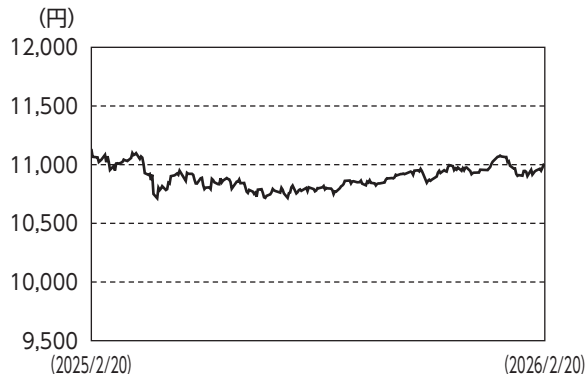
(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2025年2月21日~2026年2月20日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	7円 (7)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)
合計	7

○ロング上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	LONG GILT FU 2603	イギリス	80.7%
2	第1300回国庫短期証券	日本	25.6%
3	第1319回国庫短期証券	日本	10.9%
4	第1294回国庫短期証券	日本	6.2%
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		4	

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○ショート上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	長期国債標準物先物 2603	日本	△54.4%
2	EURO-BUND 2603	ドイツ	△31.7%
3	US 10YR NOTE 2603	アメリカ	△20.5%
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		3	

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1)ロング上位10銘柄、ショート上位10銘柄のデータは2026年2月20日現在のものです。

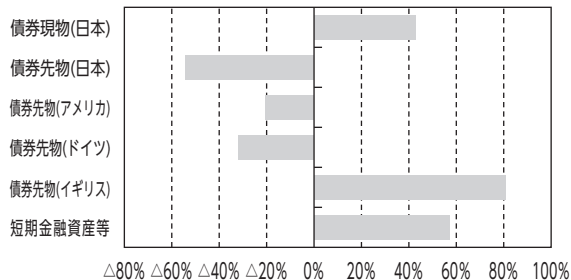
(注2)1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入ファンドの概要

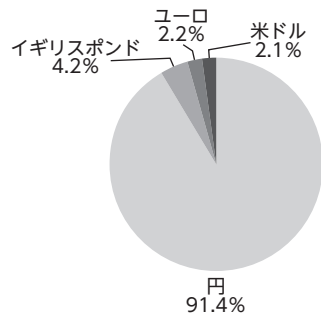
現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

### GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)

#### ○資産・国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 資産・国別配分、通貨別配分のデータは2026年2月20日現在のものです。

(注2) 資産・国別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。また、オフバランス取引を行っているため、資産・国別配分の合計は100%となりません。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

